

# 金丸山

齋藤 美和子

- 山行年月日:2020年11月22日
- メンバー:齋藤美和子
- コースタイム:三条部落跡 8:05～霧来沢 8:30～稜線 662m 9:30～山頂 12:00-12:10～稜線 662m 13:45～霧来沢 15:00

金丸山は、金山にある。以前から登ろうと思っていたが、なかなか、叶わなかった。沢から詰めるには、たぶん厳しすぎる。一人ではいけない。稜線を写真にとり、尾根伝いはどうかだと思っていた。傾斜の急なところがあるので、ロープが必要かなと思った。三条部落跡から沢を渡り登ることにした。沢靴とロープ準備。三条部落あとの近くに駐車。部落から沢に降りる。沢がそんなに浅くなかった。しかも、結構水量があり、幅もあった。冷たいので濡れたくない。別の所は？と探すが、少し上流で、何とかなるようなところを見つける。でも、たぶん膝上だ。水が冷たい。どうしようと逡巡するが、せつかくここまで来たのでエイと渡った。腿までぬれたが、まあいい。渡れた。杉林に入る。下草がなく歩きやすいが、直ぐに終わり尾根に向かう。尾根に乗ると踏み跡。藪は薄い。ブナが美しい。登って行くと尾根が不明瞭になる。傾斜は急であるが、葉が落ちて全体像がよく見える。左から尾根が合わさる。稜線に乗ると、方向が

変わり、イヌツゲとモチノキのお出向かえ。でも、なんとなく踏み跡がある。これを見つけながら進む。稜線は黒松の峰と、ところどころにイヌツゲとモチノキとシャクナゲの藪。両側は切り立っている。狭いぎりぎりのところもあったが素晴らしい景色であった。岩も出てきた。緊張して渡る。疲れたが、藪を越していくとやっと山頂。山頂は何もない。景色も見えない。リンゴを食べて水を飲んで、おにぎりは1個しか食べられなかった。少し左足が攣った感じ。でも、まあいいか。ゆっくり下る。迷いやすいところは赤テープを貼ってきた。2回尾根を間違えたが、戻ってテープを見つけてほっとして下る。帰りは楽であった。シャクナゲが咲いているのを見つけた。あつという間に、渡渉点。全くためらわず渡れた。ああいい気分。冷たくない。腿までぬれたけど大丈夫。ここをまっすぐ登るとすぐに林道であった。ロープは



霧来沢の渡渉点

使用しなかった。この山は、名前がついている。たぶん、三条の人がこの山を歩いていたんだろう。だから、踏み跡が少し残っていたのだろうと思われた。やっと、登れました。満足しました。